

あとがき

免疫は、個体が敵から自分を守るための細胞社会における営みであり、敵であるウイルス・微生物や腫瘍を駆逐して正常な細胞・組織を救うのが本来の目的です。対象が自己ではないことを認識して攻撃するという免疫応答だけではなく、自己であることを認識してあえて攻撃しないという免疫寛容も併せもつことで、適正に免疫は機能します。NK細胞やT細胞の仕事は、ウイルスに感染した細胞や腫瘍細胞を破壊することです。これらの細胞はもともと自己の細胞であることを踏まえると、敵と自己の違いは紙一重だとしても不思議はありません。また、B細胞は免疫グロブリン遺伝子、T細胞はT細胞受容体遺伝子の後天的かつ偶発的な組換えによってそれぞれ発生するため、常に自己反応性のB細胞やT細胞が出現するリスクがあります。自己攻撃を回避するべく、骨髄、胸腺、末梢リンパ組織にはそれらを除去するシステムが存在します。加えて、自己由来の物質や日常的に曝露される外来物質に対する不都合な反応を抑制するべく、免疫寛容に関わる細胞も存在し、制御性T細胞はその代表例です。

そのような絶妙な免疫の仕組みのおかげで、発熱や倦怠感といった症状による一時的な負担や制約が個体に生じて、敵を駆逐できれば最終的には身体の平和が戻ります。なんらかの原因で免疫寛容が破綻した結果として発症する自己免疫疾患は、敵から自己を救うという本来の目的から逸脱した免疫事象です。自己と

敵の間の“紙一重”をシステムが誤ることで細胞社会に不利益をもたらした疾患であるとも換言できます。

転じて、人間社会についても同様の考察ができるかもしれません。国内外の経済悪化の収束はいまだみえないまま閉塞的な状況が続き、世界には不穏な空気が流れています。経済は人のために存在するものであり、経済のために人が存在しているわけではないという至極当然のような前提には、紙一重の危うさがあります。経済の改善・発展には一時的に人々の負担や制約を伴う局面は付きものですが、最終的には救済と繁栄を人々にもたさすべきです。しかし、経済のために人が存在するかのような事態に至っている現実を経験している私たちは、その至極当然の前提が必ずしも容易ではないことを知っています。懸命に探している出口が入口、すなわち本来の目的にかなっていないかどうかを常に自問自答するべきなのではと思われます。細胞社会のシステムの破綻という側面から自己免疫疾患の理解を深めることは、私たちを取り囲む社会のさまざまな難局を克服するためのヒントにつながるかもしれません。

今月号の特集は「自己抗体検査のアップデート」をテーマに、第一線で活躍する方々にご執筆いただきました。自己免疫疾患の病態形成に関与する分子、あるいは病勢を反映するマーカー分子として意義を有する自己抗体について知識のアップデートを図ることで、検査の運用や解釈のさらなる向上につながると幸いです。
(涌井昌俊)

編集顧問 河合 忠 濱崎 直孝

編集同人 猪狩 淳 池田 康夫

小沢友紀雄 片山 善章

佐藤 尚武 高橋 正宜

編集委員 山田 俊幸(主幹) 関谷 紀貴

(五十音順)

伊藤 喜久 岩田 敏 大久保昭行

河合 昭人 軽部 征夫 坂本 穆彦

中 恵一 本田 武司 三浦 純子

藤崎 純 柳原 克紀 涌井 昌俊

臨床検査 (第69巻第7号) 2025年7月15日発行(毎月1回15日発行)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

☎ 販売・PR部 (03) 3817-5650

☎ 本誌編集室 (03) 3817-5712

FAX (03) 3815-7802

E-mail: rin-ken@igaku-shoin.co.jp

定価: 2,530 円(本体 2,300 円+税 10%)

2025 年年間購読料(送料弊社負担、2 冊の増大号を含む 12 冊)

冊子版 36,300 円

電子+冊子版/個人 41,778 円

電子版/個人 33,660 円

担当 溝口・松井・田村・應利

印刷所 (株)アイワード

広告取扱 (株)文京メディカル ☎ (03) 3817-8036

別刷取扱 販売・PR 部 ☎ (03) 3817-5696

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2025, Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット)は <https://www.igaku-shoin.co.jp> です。

「臨床検査」URL <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/542>

・「臨床検査」は、株式会社医学書院の登録商標です。